

熊本博物館蔵前原健太郎医書コレクション目録

大島, 明秀
熊本県立大学

<https://hdl.handle.net/2324/5203162>

出版情報：熊本県立大学大学院文学研究科論集. 15, pp.23-31, 2022-09. 熊本県立大学大学院文学研究科

バージョン：

権利関係：



熊本博物館蔵前原健太郎医書コレクション目録

大島 明 秀

熊本博物館蔵前原健太郎医書コレクション目録

大島 明 秀

解題

熊本博物館には各種の和本コレクションが収蔵されているが、その一つに「前原健太郎旧蔵医書」がある。館内資料によると、玉名郡岱明町に居住していた前原健太郎氏が、同町在住の荒木襄次氏の紹介を受け、昭和四二年（一九六七）に「養蚕道具」、「漢方医療箱」、「本箱」とともに「漢方医書」四十冊を寄贈したことが記録される。

「漢方医書」四十冊の中に稀書は見当たらず、当コレクションは一般的な医書を蒐集したものと云わざるを得ないが、評価すべき点は、蔵書構成よりむしろ蔵書の伝来にある。例えば、写本「医家秘伝記」は、「鎮西女上山善導寺之内普林院住持 順智義札／平橋藤幸／天正二年〔一一五七四〕九月吉日／九州肥後玉名郡之内高瀬新町／平常住物」との奥書を備えており、（現在久留米市に所在する）善導寺の普林院住持順智義札の書写に成り、平橋藤幸、玉名郡高瀬の平常住の転写に係る一本である。その他の本にも「玉名郡白間之庄坂下」に居住していた平橋見季や平橋士行など「平橋」姓の人物による識語・奥書が確認でき、また、「玉名」の「釈慧観」による識語・奥書も見える。

以上から、「前原健太郎旧蔵医書」が玉名地域に伝来した医書を集めたコレクションであることは疑いなく、同地域の歴史を綴ぐ上で重要な価値を秘めた資料群と見られる。

謝辞

本調査は熊本博物館・木山貴満学芸員のご協力の下で行われました。ここに記して感謝の意を表します。なお、本研究はJSPS科研費 JP18K00284、JP19H00540の助成を受けたものです。

通番	書名	刊・写	法量 (cm)	冊数	全冊揃・不揃	著者・書写者	出版者	成立年次	蔵書印	(所蔵・購入に係る) 譲渡	書名の典拠	刊記	写本奥書	登録番号 (通し番号)	備考
1	類聚方	写	23.9×17.7	1	全	[不明]		[近世中後期]	[なし]	「平橋竹物」、「丑十月二十五日」	外題		[なし]	22-20.455	版本からの抄出に注記を加えたものか
2	医家秘伝記	写	19.7×13.7	1	全	[不明]		天正2 (1574) 年9月写	[なし]	[なし]	見返し題		「鎮西女上山善導寺之内普林院住持 順智義礼／平橋藤幸／天正二年九月吉日／九州肥後玉名郡之内高瀬新町／平常住物」	22-19.132	破損大
3	琴山翁口録	写	24.0×17.8	1	不揃	[村井琴山 (原著)]		文政5 (1822) 年8月写	[なし]	[なし]	扉題		「文政五年中秋吉辰 卒業／平橋士行二十有七才」	22-20.457	存巻12
4	療治茶談	写	25.4×18.5	1	全	津田玄仙 (原著)		天明5 (1785) 年10月20日写	[なし]	「肥玉白坂松平見藤政 (花押)／写之」、「玄甫」	内題		「于時天明五之巳十月廿七夜口書終／肥之後州玉名郡白間之庄坂下之住／平橋見季藤原之政次 (花押)／十七歳 (花押)」	22-19.133	初編、外題「秘方付録療治茶談」、明和7 (1670) 年冬刊の版本の写し
5	訓示示蒙	写	22.5×15.6	1	全	[荻生徂徠 (原著)]、釈慧観 (写)		嘉永1 (1848) 年9月9日以降写	「平橋的雄之印」(朱・陽)	「慧観物」、「南関蔵 釈慧観」、「東肥坂下／平橋」、「肥後熊本県 県下坂下村／玉名郡下坂下村／松林軒」	内容		「肥後州玉名松風関幽室軒／釈氏慧観／時嘉永元戊申重陽」	22-20.459	内題「釈文箋跡」、扉題「釈文箋跡助語」と誤っている、版本の写し、原著の初刊は元文3 (1738) 年5月、奥書の後に「附」と「野馬台之詩之記」あり
6	東洞先生遺稿	写	22.5×16.4	1	全	[吉益東洞 (原述)]、吉益南涯、吉益清、吉益辰 (原編)]		[寛政12 (1800) 年1月以降写]	[なし]	「第八大区五小区／下坂下村／大場／豊田伝／求之」	内題		[なし]	22-19.213	寛政12 (1800) 年1月刊の版本の写し
7	微痛新書	写	24.1×16.6	1	全	片倉元周 (原著)		文久2 (1862) 年10月上旬写	[なし]	[なし]	内題		「文久二年戌十月上旬仁而写之／南関大田黒村古関水無渡物ナリ」	22-20.461	版本の写し、原著の初刊は天明6 (1786) 年5月、22-20.465とは筆跡が異なる
8	微痛新書	写	25.5×18.2	1	全	片倉元周 (原著)		文政3 (1820) 年写	[なし]	[なし]	内題		「文政三年於崎陽橋林氏／平橋文哲／写之」、「慶応丙寅六月防長兵草競起滞陳于小倉米價二兩二歩／先鋒溝口蔵人二隊長岡監物」	22-20.465	版本の写し、原著の初刊は天明6 (1786) 年5月、巻末に「文久甲子 (1864) 述懐 文哉處稿」の漢詩あり、22-20.461とは筆跡が異なる
9	傷寒名数解	写	23.9×17.6	4	不揃	中西惟忠 (原著)、鷹取惟恭、迎煥、渡辺有意 (原校)		[近世中後期]	[なし]	「平橋氏／蔵本」	内題		[なし]	22-19.146, 22-19.153, 22-20.462, 22-20.463	巻2-5存、版本の写し、原著の初刊は寛政2 (1790) 年6月
10	素微	写	26.1×17.0	3	揃	吉益東洞 (原著)、田中殖郷、中邸貞治、加藤白圭 (原校)		天明5 (1785) 年5月以降写	[なし]	[なし]	内題		[なし]	22-19.136, 22-19.137, 22-19.154,	天明5 (1785) 年5月刊版本の写し
11	東洞先師家塾方	写	24.9×17.6	1	全	村井琴山 (原校定)		文久2 (1862) 年3月中旬写	[なし]	[なし]	内題		「文久二年壬戌三月中旬写之終／玉名郡南関手永上大田黒村／古関水無渡物也」	22-19.138	外題「東洞塾方痘疹必用」、版本の写し、原著の初刊は安永9 (1780) 年5月

通番	書名	刊・写	法量 (cm)	冊数	全冊揃・不揃	著者・書写者	出版者	成立年次	蔵書印	(所蔵・購入に係る) 経路	書名の典拠	刊記	写本奥書	登録番号 (通し番号)	備考
12	奇方集書家名法	写	22.3×15.5	1	全	[不明]		[近世後期]	「閑溪」(朱・陽)、「閑溪藥譜」(朱・陰)	[なし]	外題		[なし]	[なし]	「南蛮流紅毛外科」,[「諸家方」]の合綴、巻末に「癰疾梅毒其外目科下巻記」とあり
13	布飲己癰毒書	写	24.0×17.0	1	全	[Joseph Jacob Ritter von Plenck (原著)]		[近世後期]	[なし]	[なし]	内題		[なし]	22-19. 140	底本は、ブレンキ (Joseph Jacob Ritter von Plenck) のラテン語著書 <i>Doctrina de morbis veneris</i> の1792年蘭訳本 <i>Verhandeling over de venusziekten</i> に通る
14	志方流癰瘡療治口伝秘書	写	23.8×17.4	1	全	北村玄東 (原相伝)		宝暦4 (1754) 年3月以降写	「仲橋之印」(朱・陽)	[なし]	外題		備考①の奥書「右之一冊者我等家代々之大秘伝ノ也努々不可有他見者也入ノ魂秘密不殘相伝御機中之外ノ不免出置者也 志方小平女貞ノ慶安元戊子年春分日ノ北村氏相伝」、「右此一冊他二有ト顧此一本書志方氏一子相ノ伝之方也黒神散之焼煉或目ニツトイタルノ療治之仕掛相伝之妙也不可云也予堅ヲ以伝授者也努々除ニ伝事禁制也定知件ノ北村氏」、②「此一冊者志方姓家之秘伝書也彼流ノ平生癰瘡之療治不泥古方多用新意其功驗臨症愛之妙不易殫測也ノ然披讀此書引伸触類則可得無窮之ノ功驗於此大秘之云爾雖親子勿見聞尤ノ勿他見矣云々ノ于時延宝七未重陽日ノ志方小左衛門伝」③「此一本書者仕覺書付秘伝已勿有ノ他見矣北村氏」、④「右此一本書北村玄東先生翁覽書也ノ尤無他見可秘之」、「凡前二冊者志方氏何某子祖父北村ノ玄東先生直伝之秘書也秘授之而不ノ出門戸秘之妙之一子相伝之妙方云々ノ後之二冊者祖父玄東覽書一冊亦玄東覽書一冊而部而四冊合而為一本尤秘傳之書也然則当家庭癰瘡療治之秘事此書究者也必不可有他ノ見者也ノ于時宝暦四甲戌三月 清良軒北村玄東書写ノ此書直伝一流代々之療治之以其尤ノ秘傳之妙方草書雖門弟子勿伝ノ授一家之為秘事云々」、⑦「右白図先生一門之術治方也雖■■■■ノ有相伝者也中山橋壽隱書」	22-19. 142	①「志方流癰瘡療治秘傳之書」、②「志方家癰瘡之療治秘傳書 北村玄東相伝」、③「直伝目之療治志方氏之一子相伝」④「癰瘡覽書」、⑤「癰瘡療治之覽書」、⑥「「癰瘡覽書」」、⑦「「白図先生癰瘡古今治方」」の合綴、表紙破損大
15	秘書三家集	写	26.8×20.1	1	全	[不明]		[近世中後期]	[なし]	「平橋氏」	外題		[なし]	22-19. 150	
16	一流外科抄	写	24.5×18.8	1	全	[不明]		天明6 (1786) 年5月以降写	[なし]	[なし]	内題		「于時天明六歳五月日写之 平橋順省藤原政行ノ十八才之時」	22-19. 152	奥書の後に別の作品が続いている
17	申垣校正外科啓玄論	写	26.2×18.9	1	全	[申垣辰 (原著)]		[近世中後期]	[なし]	「高瀬横町ノ平橋道碩」	内題		[なし]	[なし]	唐本『申斗垣校正外科啓玄』の抄出、原著の初刊は万暦32 (1604) 年序、彩色図あり
18	「感染病に対する予防医学」	写	28.1×20.0	1	全	[不明]		明治40 (1900) 年12月以降写	[なし]	「平橋」	内容		[なし]	22-19. 149	近代写本
19	癰瘡秘録	刊	27.0×18.0	2	全	陳司成 (著)	皆山三郎右衛門、西村吉兵衛	安永3 (1774) 年3月再版	「春木帝榮」(黒・陰)ほか不明黒印1点	「阿是要穴ト此書ヲ求ル也ノ至名郡白間庄下坂下村ノ平橋見季ノ求之也」	外題	「享保十年乙巳十一月穀旦ノ安永三年甲午三月再版ノ京師書林ノ皆山三郎右衛門、西村吉兵衛」	22-19. 141, 22-20. 456	和刻本、再版、坤巻に和紙でこしらえた表紙カバーあり	

通番	書名	刊・写	法量 (cm)	冊数	全冊揃・不揃	著者・書写者	出版者	成立年次	蔵書印
20	西説医範提綱釈義	刊	26.0×18.1	3	全	宇田川椿斎 (訳述)	勝村治右衛門、大野木市兵衛、河内屋太助、河内屋儀介、須原屋茂兵衛 (風雲堂)	文化2 (1805) 年7月	[なし]
21	医学質験五種産科発蒙	刊	26.0×18.0	1	不揃	片倉元周 (著)、谷井敬英、今村長順、伊達周禎 (校)	勝村治右衛門、秋田屋市兵衛、須原屋茂兵衛、須原屋伊八、須原屋市兵衛、須原屋善五郎	寛政9 (1797) 年5月	[なし]
22	病名彙解	刊	22.3×15.4	1	不揃	蘆川桂洲 (著)	[不明]	[近世中後期]	[なし]
23	傷寒論	刊	25.8×18.5	1	不揃	[張仲景 (撰)]	[不明]	[近世中後期]	[なし]
24	宋板傷寒論	刊	25.8×18.3	1	不揃	[張仲景 (撰)]、王叔和 (撰次)、林億 (校正)、趙開美 (校刻)、沈琳 (校)	[不明]	[近世前期か]	[なし]
25	傷寒論国字解	刊	22.9×15.8	1	不揃	雲林院了作 (註解)、橋本正隆 (筆授)	[不明]	[近世後期]	[なし]
26	傷寒論弁正	刊	25.8×18.1	1	不揃	中西惟忠 (著)	[不明]	[近世後期あるいは近代初期]	「米読口書」(朱・陰)、「都印」(朱・陰)、「春西」(朱・陽)
27	古方選	刊	12.8×19.3	1	全	小野常建 (輯)	[不明]	安永1 (1772) 年1月跋	[なし]
28	痘科鍵	刊	25.1×16.6	1	不揃	朱翼 (著)、朱鳳台 (訂)、楊大成 (参)、楊大経 (較)	[不明]	文化年間 (1804-18) 以前	[なし]

(所蔵・購入に係る) 譲渡	書名の典拠	刊記	写本奥書	登録番号 (通し番号)	備考
[なし]	内題	「文化二乙丑年秋七月／京都 寺町通松原下ル 勝村治右衛門／大坂 心斎橋通安堂寺町 大野木市兵衛／同唐物町 河内屋太助／同南本町同儀介／江都 本銀町二丁目 須原屋茂兵衛」		22-19.144, 22-20.153, 22-20.458	巻1-3存、外題「医範提綱」、見返し題「和蘭内景医範提綱」、見返しに「風雲堂蔵版 官商閣発兌」とあり、巻末に「青藜閣蔵版書目録 江戸東叡山池之端仲町 須原屋伊八」あり
[なし]	内題	「寛政己未五月／京都 寺町通松原上 勝村治右衛門／大坂 心斎橋筋順慶町 秋田屋市兵衛／江戸 日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛／江戸 池端仲町 須原屋伊八／江戸 宝町二丁目 須原屋市兵衛／江戸 本銀町通二丁目 須原屋善五郎 発兌」		22-19.134	巻5-6存、外題と題名の巻次「産科発蒙 四」、版心に「静候堂」とあり
[なし]	内題	[不明]		[なし]	巻4-5存、外題の巻き次は「三」、版本の初刊は貞享3 (1686) 年3月
「松林軒」、「平橋姓／蔵書」	内題	[不明]		22-19.151	巻6存、和刻本
「松林軒／平橋氏」	外題	[不明]		22-19.143	巻1-5存、和刻本、題名の巻次「乾」、寛文8 (1668) 年5月刊本か
「六巻之内 平橋見季」	内題	[不明]		22-20.460	巻5存、題名の巻次「二 三 大論」見返しと裏表紙見返しに吉文字屋市兵衛の蔵版書目あり、巻末の脱落あるか
[なし]	内題	[不明]		22-19.135	巻5上存、原著の初刊は安永3 (1774) 年8月、版心に「澄霞園蔵」とあり
「文政九戊子月中旬」、「文政七春正月／熊城書林 於吉文字屋求之／平橋文哲／二十有九」、「熊本県下玉名郡／下坂下村／平橋什物」	内容	[不明]		22-19.139	破損大、版本は安永1 (1772) 年1月跋と見られる
「文化年之月／平橋氏／蔵本」	内題	[不明]		22-19.145	巻下存、和刻本、題名の巻次「利」、版本の初刊は享保15 (1730) 年9月

通番	書名	刊・写	法量 (cm)	冊数	全冊揃・不揃	著者・書写者	出版者	成立年次	蔵書印	(所蔵・購入に係る) 譲渡	書名の典拠	刊記	写本奥書	登録番号 (通し番号)	備考
29	[古今方彙]	刊	12.6×18.0	1	全	[岡本玄治(原著)、望月三英(校)、甲賀通元(重訂)]	[不明]	[近世中後期]	[なし]	[なし]	内容	[不明]		22-19.148	破損大、本文より重訂版『古今方彙』と判断
30	観聚方要補	刊	25.7×19.6	1	不揃	丹波元簡	[不明]	[不明]	「平橋□□」(朱・陰)、「字□□□」(朱・陽)	「平橋姓」、「明治十五年表紙改／熊本県玉名郡／下坂下村」	内題	[不明]		22-19.155	巻1-5存、版心に「車修堂蔵板」とあり
31	産科訓典	刊	14.4×9.8	1	全	瀬脇寿雄(翻訳)	井上円成	明治24(1891)年1月	[なし]	[なし]	内題	[奥付は省略]		22-20.466	近代活字本、扉題「産科詠典」、綴じ外れ
32	伝染病大意	刊	23.1×15.2	1	全	井上善次郎(講述)	博文館	明治41(1908)年6月	[なし]	「所有者 平橋」	内題	[奥付は省略]		22-19.147	近代活字本、頁外れあり